

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：齊藤 親

事業名 <small>なんかいほんせん いずみさの</small> 南海本線（泉佐野市）連続立体交差事業		事業区分 街路	事業主体 大阪府
起終点 大阪府泉佐野市湊1丁目～東羽倉崎町		延長 2.8 km	
事業概要 本路線は、大阪市と和歌山市・関西国際空港を結ぶ幹線鉄道であり、とりわけ、本事業区間のラッシュ時における踏切遮断は長時間にわたり、踏切部で発生する交通渋滞は著しい。そこで、踏切を除却し、沿線の交通渋滞を緩和するとともに、鉄道による市街地分断を解消するものである。			
S62年度事業化		S61年度都市計画決定（H年度変更）	
S63年度用地着手		H3年度工事着手	
全体事業費 562億円		事業進捗率 76%	
踏切交通遮断量 122,291台・時/日		供用済延長 1.1km	
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /349億円 (事業費) /349億円 (維持管理費) / 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) /636億円 (走行時間短縮便益) /602億円 (走行費用減少便益) /43億円 (交通事故減少便益) / 億円
			基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される） ・個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する）			
			他3項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 地域住民より、事業の早期完成に対する要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成6年度に関西国際空港が開港し、列車本数及び交通量が増加している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成6年度に一部区間（L=1.1km）の高架切替を完了している。 平成14年5月に残区間の片側高架切替を完了している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収は完了しており、全区間に渡り工事を進めており、平成18年度に全線供用予定である。			
施設の構造や工法の変更等 経済性などの面から判断し、RCラーメン高架橋構造としている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 事業の必要性が認められ、かつ事業進捗上も特段の支障がないと考えられるため。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。